

プロ御用達！エフェクターの代表ブランドのフロア・マルチ・エフェクター

# ROCKTRON

## UTOPIA G300/UTOPIA G200

80年代前期にアメリカ・デトロイトで創立され、ノイズ・リダクションを口火にプロ御用達ロック・マウント・エフェクターの代表ブランドとして80年代、90年代そして現在と各時代のギター・サウンドを支え、多くのトップ・ギタリスト達に愛用されてきたロックトロン社とニューモデルを紹介しよう。(文：谷川史郎)

### ロック・システムの老舗ブランド

ロックトロンが登場したのは1983年、ロックギター・シーンでは70年代末期に登場したエディー・ヴァン・ヘイレンをきっかけにドライヴ感豊で高速&テクニカルという新たなスタイルが主流となりエフェクター・シーンにおいてもコンパクト・タイプから更に多彩でハイ・クオリティなサウンドを持つロック・エフェクターへと進化していった。また日本ではロサンゼルス、ニューヨークなどを中心としたスタジオ・ミュージシャンのサウンド、機材に

注目が集まっていたが、そんな中、ロックトロン社は、ノイズ・リダクション・ユニットを発売、ロック、フュージョン系など多くのトップ・ギタリスト達が使用していたロック・システムの中に必ずと言って良いほど見つけることの出来たロックトロン「HUSHノイズ・リダクション」によってその名を一躍メジャーなモノとするが、同時にロック・シーンはLAを口火とした80年代ハード/メタル・ブームを迎え、ノイズ・リダクション・ユニットは、よりハードなドライヴを求めるロック・ギター・サウンドには必要不可欠な定番ユニットとして定着。HUSHの成功をきっかけにロックトロンは、マルチ・エフェクターなどを

次々に発売、そのハイ・クオリティなサウンドと機能によって日本でも多くのギタリストのサウンド・システムに採用されるなどトップ・エフェクター・ブランドとしての地位を確立する。これまで数多くのトップ・ギタリストのサウンドを支えてきたロックトロンだが、その最大のポイントは実践的な音作りとステージなどでの使いやすさだろう。太くバランスの良いサウンドは80年代のアナログ・システムからデジタルに進化しても変わらず、ハイ・クオリティな機能とあくまで楽器としての音の良さをキープし続けているが、特にマルチ・タイプのウイーク・ポイントでもあったギタリストのイメージしたサウンド・チェンジへのリアルタイム・コントロールなどプログラマブル・マルチの即応性などもいち早くクリアするなどサウンド・クオリティの高さに加えライブでの使いやすさもロックトロンの大きな魅力の一つと言えるだろう。

## ROCKTRON / UTOPIA G300



税込価格：8万9,250円

### 判りやすくスムーズな オペレーション&サウンド・メイク

ロックトロン・ロック・マウント・エフェクター同等の高品位サウンドをコンパクトに内蔵したフロア・マルチとして好評のユートピアG100に新たなチャンネルを加えた上位機種が登場した。ハイ・スペックを擁しながらも非常にシンプルなルックスを持つユートピアだが、そのルックス同様にオペレーションも非常に判りやすく、マルチ・エフェクターにありがちな操作の複雑そうな印象を全く感じさせないのは大きなポイントだろう。

4個のコントロール・ツマミは、右側から1) 選択されているプリセットに対するエフェクトや機能のセクター、2) エフェクターのパラメーター・セレクト、3) パラメーターの調整、そして左4) プリセット・セクターとして割り当てられているが、シンプルだけにサウンド・メイクはとても簡単に行える。本体ペダル・スイッチ

またはセクター・ツマミでプリセット・サウンドを呼び出し、必要であれば各コントロール・ツマミで変更したい機能、エフェクトからレベルなどの値をセレクトし変更するだけで好みのサウンドを作り出すことができる。

サウンド・メイクの流れも非常に判りやすく、クリーン、ドライヴなどサウンドの基本となるベーシック・キャラクターを5タイプ(CH)のプリアンブ・セクションからセレクトし、その基本サウンドを基にイコライザーや好みによってモジュレーション系、拡がり系エフェクトなど造りたいサウンド・イメージに向かってエディットしていくだけで良い。この流れは、アンプで基本の音をキメ、エフェクターでサウンドをメイク・アップさせるという一般的なコンパクト・エフェクター+アンプでのサウンド・メイクと全く同じ感覚で行える。

またユートピアは、プログラマブル・マルチながら「アドリブ的に個々のエフェクトをバイパス/オンさせたい」というギタリストの要求するサウンド・メイクの自由度に

対してもフル対応してくれる。本体SWによって呼び出してあるプリセット・サウンドで使用されるエフェクターが瞬時に本体の各フットSWに割り当てられるなどコンパクト・ペダルと同様の使い方ができるなどエフェクト使用の自由度と即応性に対してとても良く考えられている。演奏中に使いやすいプロ・スペックのフロア・マルチを求めている人はもちろん、ステージ用として、そろそろマルチに...と考えているコンパクト派にも判りやすく使いやすいお薦めしたい。

ユートピアでは、演奏中のタップ・スイッチによるディレイ・タイム設定(タップ・テンポ機能)も可能だが、ステージ本番でのプレイ中などでフット・コントロールのタイミングにズレが生じてしまう可能性に対して多少のテンポ・ズレでは、ユートピア側が自動的にクオンタイズし曲やフレーズのテンポに合わせたディレイタイムを設定してくれるノート・クオンタイズ機能を搭載するなどギタリストの自由度を更に確かなサウンドにするための機能も多く用意されている。やさしいスイッチング感を持ち暗いステージでも見やすく蛍光加工された樹脂製ペダルSWなど機能以外の部分でもキメ細かい仕様もロックトロンらしさと言えるだろう。

### オール・ジャンルをカヴァーする 充実の5CHプリ・アンブ

サウンド・メイクの土台でありユートピアの心臓部とも言えるプリ・アンブ・セクションには、「クリーン、テキサス、プリティッシュ、メガ、レクト」の5CHモードを用意。スタジオ・タイプのクリスタルなクリーン・トーンからクラシックな70年代系オーヴァー・ドライヴ、ハイ・ゲイン・ドライヴさらにモダン・ヘヴィー・ドライヴまでオール・ラウンドなジャンル/スタイルに対して上質なサウンド・メイクを造り出すことができる。各チャンネルは、それぞれのサウンド・キャラクターの特徴を活かしながらもロックトロンらしい応用性の高い音作り、コントロール幅の広さが加えられているので各チャンネル内の音作りも幅広く行えるが、「クリーン」から「レクト」ま



写真1 G300 エフェクト・ループ部  
G300には好みのドライブ系エフェクターなどを外部エフェクターとして追加、プログラム可能なエフェクト・ループが装備



写真2 G300トップ  
暗いステージでも確認しやすく蛍光加工されたコントロールしやすいペダル・スイッチ類

でのチャンネル/キャラクター同士の繋がりも良く、それぞれ完成度と個性をしっかりと持ちながらもクリーンからクランチ、オーヴァー・ドライブ、ハイ・ゲイン・ディストーションまでのサウンドはスムーズに繋がってくるのでクリーンでのカッティングからリード用のドライブCHへのチェンジなどでも自然な感じで移行してくれる。各チャンネルでの音作りはきめ細かく入え、造ったサウンドは、プリセットとしてメモリーできるので同じチャンネル内で異なったトーン・メイクを使い分けするなど使用する楽曲やスタイルに対しての様々な対応してくれるだろう。

## ナチュラルでレスポンスの良いベーシック・サウンド

ブリ・アンプなどでは歪系のセッティングよりも大元となるクリーン・サウンド時にトーン・バランスやレスポンスなど、その機種のサウンド・クオリティーの高さなどが現れてくるが、ユートピアに用意されているクリーンCHのクオリティーは非常に高く、デジタル系ブリ・アンプにありがちなトーンの細さ、ニュアンス・フォローに対する微妙なレイテンシーやコンプレッション感などによるストレスなどは全く感じさせない。

クリーン・チャンネルを含めブリ・アンプ段の歪み始めるレベルがコントロールできるロケットロン独自のヴァリラック・アジャスト・コントロール、真空管の歪み感を作り出すシンメトリー・コントロール（クリーンCH以外）を装備するなどチューブ・アンプ特有のトーン・ニュアンスをミックスすることによってクリーン、ドライブ系チャンネル共に弾き手側のニュアンスに対するレスポンスの良さ、自然なドライブ感などを得ることができる。

ロケットロンの代表ラック・モデルとしてお馴染みのカメレオンなどプロ・ユースなラック・エフェクト・シリーズ直系のハイ・クオリティーなトーンを持つユートピアの基本サウンドにパワー感とコントロールしやすい歪みが加わった各ドライブ系キャラクターは4タイプ共に低域から高域までバランスの良い歪み感とドライブ量に対応した自然なサステインを作りだしてくれる。ツイード・アンプ系のレットロな歪みからファットでブルーギーなクランチ・サウンドなど粒立ちの良いアメリカン・ドライブ・トーンの「テキサス」、60年代プリティッシュ系からコンテンポラリー・ロックまで幅広く対応力を持つスタック・サウンド

の「プリティッシュ」、パワフルな歪み感と伸びの良いサステイン・サウンドの「モダン・ハイゲイン」そしてユートピアの新たな歪みチャンネルとして加わりエッジの効いたハイパワー・ディストーションを供給してくれる「レクト」まで充実のドライブ・キャラクターからは、どれもロケットロンならではの骨太なトーンと上質な歪みサウンドを作り出すことができる。

## 高品位で充実の残響・空間&モジュレーション系&HUSHエフェクツ

5chブリ・アンプからセレクトされた基本サウンドをカラフルに演出するエフェクト群には、上質な奥行きと揺れ、安定した音程をプラスするコーラスからピッチ・シフトまで4種のモジュレーション系、クリアかつ自然な拡がりを作り出すタップ可能なディレイ、高品位なスタジオ・クオリティーのリヴァーブを用意。もちろんロケットロンを代表するHUSHを搭載しているためクリーン・ハイパワー・ディストーションまで全てのキャラクターに対し多彩でノイズレスな高品位サウンドを作り出してくれる。

## ステージからレコーディングさらにPCまで対応した出力系統

ステージ用ラック・エフェクターとして高い人気を誇るロケットロンだが、このユートピアには、アンプ手前から

の使用、アンプのエフェクト・ループでの使用によるライブ・パフォーマンスをはじめライン・レコーディングにも完全対応、プロ・レベルの音作りを可能にするスピーカー・キャビネットの鳴りをリアルにレコーダーやミキサーへとライン・アウトしてくれるスピーカー・シミュレーターを装備。スピーカー・キャビネットからの音圧感、使用するスピーカー・サイズ（ユニット）のセレクト、レコーディングではトーンの重要なファクターとなるマイク・ポイントによるトーン変化など細部にわたりキメ細かいセッティングが可能なスピーカー・シミュレーターによってヘッドフォンでのモニター時はもちろん、DTM/ホーム・レコーディングなど実際のキャビネットを鳴らすことの難しい環境でのレコーディングでもリアルなスピーカー・サウンドをライン・ダイレクトから簡単に収めることが出来る。シミュレーターの出力をL,Rに振り分けることも出来るため、実際のアンプとシミュレーターからのライン・サウンドをPAでミックスさせたり独立したトラックにレコーディングすることもまた様々な出力ヴァリエーションを得ることができる。

さらにユートピアには、MIDI端子はもちろんUSBポートも装備。パソコン・ベースでのレコーディングからプレイバックなどをUSBケーブル1本で簡単に行うことができるなどフロア・タイプながらステージ・パフォーマンスから音楽制作までを1台で完璧にカヴァーしてくれる。

# ROCKTRON / UTOPIA G200



税込価格：7万1,400円

ユートピア・シリーズのデビュー・モデルとして既に発売され、その使いやすさとクオリティーの高いサウンドで好評のユートピアG100モデルと同様のスモール・サイズにハイ・スペックを装備したユートピアG300直系のクオリティーを凝縮させたライブからリハーサルなど手軽に使えるフロア・マルチ。

上位機種であるユートピアG300と同様の「クリーン」「テキサス」「プリティッシュ」「メガ」「レクト」による5チャンネル・ブリアンプを搭載。ユートピア300と同じく真空管の特性をリアルに再現するシンメトリー・コントロールなどは全て装備、ブライトでレンジの広いクリーン・サウンドからパワフルな歪みと重量感のあるヘヴィー・サウンドまでロケットロンならではのファットで芯のしっかりとしたサウンドを基本的にHUSHノイズ・リダクションからスピーカー・シミュレーターまで12機種のブリ/ポスト高品位エフェクツを搭載。各エフェクトは本体に用意されたエクスプレッション・ペダルとの併用によって多彩なサウンド・メイクとリアル・タイムなコントロールを行うことができるなどコンパクトながらライブでの使いやすさ、即応性に富んだモデルとなっている。

## キャリングにも便利なコンパクト・サイズ

ユートピア・シリーズG100と同様、リハーサルなどへの持ち運びにも便利な約380(W)x220(D)mmというコン

パクト・サイズにバンク・スイッチ（UP/DOWN）と3個のプリセット・スイッチというシンプルでデザイン性のユートピアG200。スイッチ類もコンパクトにまとめられているが、スイッチの間隔はコントロールしやすくデザインされているなど使いやすさのポイントは非常に高く、そのあたりはプロ・ユースなエフェクター・ブランドとして長いキャリアをもつロケットロンならではのと言えるだろう。

G200はバンク・セクターと3個のプリセット・スイッチとエクスプレッション・ペダルというシンプルなコントロール系だが、ここでもロケットロン独自のアイデアによってシンプルかつ多様なコントロールが行えるようになっている。その一つである「2ndファンクション・モード」スイッチは、ライブなどでの瞬時的なプログラム・チェンジやディレイ・タイムへのタップ・エディットなどリアル・タイムでのエフェクト・コントロールを可能にしてくれる便利なスイッチだ。この2ndファンクション・スイッチを利用することによって、使用しているプリセット・サウンド中のエフェクトを演奏中でもリアル・タイムでオン/オフさせることができるなどプログラム・タイプを更に幅広く使いこなすことができる。エクスプレッション・ペダルにはバイパス・スイッチが付けられ一般的なワウ・ペダルなどと同じ感覚で使えるなど自然な使用感へのアイデアが多く取り入れられている。



写真3 G200 AUX INPUT  
CDプレーヤーやデータ・プレーヤーなどの外部音源も入力可能なAUXインプット。音源とのジャム・セッションやコピーに便利